

”世知原っ子に「夢」と「笑顔」と「達成感」を”

夢をもち、心豊かで、たくましく生きる子どもを育成する



開 知

○笑顔いっぱい
○学びいっぱい
○元気いっぱい

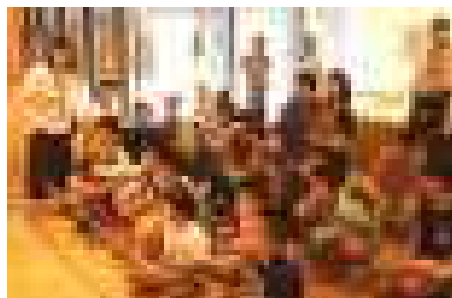
世知原小だより第25号 平成30年9月19日 文責 久保 克則

思い出に残る充実した修学旅行に行ってきました！

9月13日(木)～14日(金)に、6年生と待ちに待った修学旅行に行ってきました。この修学旅行は、①長崎市内及びその周辺部の産業・文化・歴史などに直接触れさせ、広い知見と豊かな情操を育成するとともに、社会科学習と平和教育の深化を図る。②集団行動、班別自主研修、宿泊などとおして、集団の中の一人としての自覚を高め、協調性を養うとともに、公衆道德について望ましい態度を身に付けさせる。③平素と異なる生活習慣にあつて、教師と児童及び児童相互の人間的な触れあいを深め、協働・協力の態度を養わせる。そして、9月から12月までの取組の中の「体験をとおして学ぶ→めあてをしっかりとつかみ、全力を出し切る。」ことをねらいとして実施しました。



さて、1日目の朝、思ったよりも青空が見える中、先生方や在校生のみんなに見送られて、予定どおり学校を出発しました。途中、大村湾パーキングで、定番のハートマークの前で、最初の集合写真を撮り、旅の安全を祈りました。無事長崎市内に入り、最初の目的地

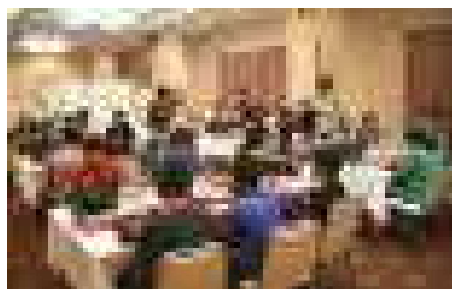


「長崎県立美術館」に到着しました。ここでは、普段一般の人は入ることができない「バックヤード見学」をしました。高い天井と大きな扉、暗証番号と指紋認証による厳重な管理に驚きました。その後は展示されている数々の美術品を見て、印象に残った作品を色鉛筆で模写しました。繊細なものや迫力のあるもの、様々な作品を鑑賞することができて、ただただ感動するばかりでした。

昼食を食べて、平和祈念公園で「平和集会」を行いました。ここで、全校児童で心を込めて折った千羽鶴を献鶴しました。その後、原爆落下中心地を通過して、原爆資料館を見学しました。原爆や戦争の悲惨さを物語るたくさんの資料が展示してあり、改めて戦争のない平和な世界を築いていくことを心に誓いました。



見学を終えた後は、みんなが楽しみにしているホテル「矢太樓」へと向かいました。到着後、早速お風呂に入りました。お家のお風呂に比べると



はるかに大きい大浴場に、ちょっとテンションも上がり気味でしたが、マナーを守りながら、1日の疲れを洗い流すことができました。お風呂から上がって、しばらくして待望の夕食です。ちゃんぽん鍋を始めとしたごちそうが並んでいました。旅の疲れも何のその、子どもたちはおいしそうに食べていました。さすが元気な世知原っ子でした。お腹がいっぱいになった後は、おみやげ選

びです。どれにしようかと迷っている姿も楽しそうでした。買い物を終えると、ホテルの方のご厚意により、ベランダに出て、新世界三大夜景をバックに集合写真を撮りました。